



- 地区名 中川西地区(都筑区)
- 団体名 中川緑と水と歴史をつなぐ会
- 計画名 早瀬川・老馬谷ガーデンを中心とした緑と水と歴史をつなぐ散歩道づくり

PROJECT REPORT



①早瀬川・老馬谷ガーデン(HRG)の花壇



②寄せ植えの個人宅前緑化



③歩行者道の緑化



活動概要

- ・協定締結期間：令和4～6年度
- ・活動場所：中川西地区(HRG、歩行者道)、中川西中学校、遊歩道、住宅地
- ・活動に参加した方々：のべ約1,500人
- ・助成金額合計：12,263千円(3か年合計)

3年間でこんな変化がありました

- ・地域を巻き込んで早瀬川・老馬谷ガーデン(HRG)の魅力高め、全国都市緑化よこはまフェアのレガシーをGREEN×EXPO 2027へつなぐ土台を築きました
- ・地域で緑化に向き合う雰囲気が醸成されました
- ・地域住民、近隣の大学生などと協力イベントを開催することで、HRGが交流の拠点になりました

こんな緑化をしました ※助成金を活用していない活動も含まれています

- ・HRGでは、キンカンやサルスベリなどの花木や花壇、ブドウ棚などを整備し、魅力向上を図りました
- ・中川地区センターから住宅地を結ぶ歩行者道沿いを緑化し、地域に愛される回廊を作りました
- ・寄せ植え講習会で作った寄せ植え鉢を個人宅前に設置し、住宅地を華やかに緑化しました

団体からひとこと

緑化活動を通じて地域の関心が高まり、住民参加も広がっています。季節ごとにネモフィラやコキア祭りを開催し、HRGの魅力を発信することで交流しながら「緑を育てる場づくり」を進めています。



地域緑のまちづくり事業とは



横浜みどりアップ計画とは



詳細な活動はこちら